

[曲名] Scherzo - Impromptu

即興的スケルツォ

[曲種] sevillana

セヴィリアーナ

[作曲者] C. Graziani-Walter

カルロ グライツアーニ・ワルテル

[編曲者]

エルマンノ・ストルファ技師に贈られたセヴィリアーナで作品287番。

十九世紀末から今世紀にかけてミラノのリコルディ出版のマンドリン曲は此処だけでも万余を数えるが、

グラツィアーニ・ワルテルも数多くの佳曲を発表した。

静かなタベ、愛らしき組曲、パレルモの生活、オダリスカの夢、夜への讃歌、山の思出

皇帝シャコンヌ、希望の光、等があるが中でも本曲は技巧容易で変化に富み、優雅華麗の両面を捉え、しかも親しみやすい。

冒頭の旋律は日本人好み、中程のへ長調のイタリア風旋律は極めて美しく彼の独断場で最後はイ長調で華やかに盛り上がる。

各楽器の動きも極めて面白い。

本邦ではマンドリン楽渡楽期に各地で愛奏された。

1969年11月15日発行

イタリアのマンドリンアンサンブル佳曲百曲集第二集より